様式第2号（第1条の4関係）　　（表面）

記入例

児童手当・特例給付　認定請求書

鹿屋市長 殿

提出年月日
令和4・4・1

ア．社会保険（協会けんぽ、組合保険等）
イ．公務員
ウ．国保、被扶養者

請求者	①（ふりがな）	かのや　たろう	②性別	男・女	③生年月日	昭和 平成 1・1・1	④職業 ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者
	氏名（法人名等）	鹿屋　太郎					⑤配偶者の有無 有・無
	⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号				電話　0994(43)2111	⑦個人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（上欄と異なる場合に記入してください）東京都〇〇区△番△号	金融機関	銀行 金庫 信組 農協 漁協 鹿屋	支店名 共栄	本店 支店	種別 普通 その他（　） 口座番号 1 2 3 4 5 6 7 口座名義 カノヤ　タロウ
配偶者等	⑨（ふりがな）	かのや　はなこ					⑪住所（⑥と異なる場合） 同上
	氏名	鹿屋　花子					
	⑩職業	ア．被用者 イ．公務員（勤務先：　） ウ．被用者等でない者	⑫個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）（上欄と異なる場合に記入してください）鹿児島市〇〇町△番△号

※1月1日時点の住所について
例：令和4年1月から4月に手当を申請する場合
→令和3年1月1日の住所
令和4年5月から12月に手当を申請する場合
→令4年1月1日の住所
（児童手当は、原則申請した日の翌月分から発生しま

ア．社会保険（協会けんぽ、組合保険等）
イ．公務員（　）に勤務先を記入

⑬児童

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係で、該当する場合○印	※3歳未満の児童○印	※3歳以上小学校修了前の児童○印	※小学校修了後中学校修了前の児童○印
鹿屋　次郎	子	平成 令和 4・3・30	同・別	平成 令和 年　月	同上	有・無	同一 維持	・未 ・父 ・同			
		平成 令和 年					同一 維持	・未 ・父 ・同			
		平成 令和 年					同一 維持	・未 ・父 ・同			
		平成 令和 ・・	同・別	平成 令和 年　月		有・無	同一 維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母			

18歳未満（高校卒業するまで）の児童全てを記入してください。
手当が発生するのは、中学生以下です。

受給者と児童が別居している場合は別居先住所をご記入ください。
※その場合は、「別居監護申立書」が必要となります。

※「監護」・「生計」の意味について
監護：　請求者がお子さんの身の回りの世話や教育をしていること
生計：「同一」お子さんが請求者の子で
請求者がその子と生計を同じくしていること
「維持」お子さんが請求者の子ではないが、
請求者がその子の生活費の大半を支出していること
※この場合、「監護・生計維持申立書」が必要です。

⑭請求者の加入している公的年金制度の種別	ア．厚生年金保険 ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に〇を記入してください。（ ）私立学校教職員共済（ ）国家公務員共済（ ）地方公務員等共済 イ．国民年金 ウ．その他（　）

該当箇所に〇をしてください。
・未加入の場合は、「ウ．その他」です。
（　）内に「未加入」と記入。
・生活保護の場合、「ウ．その他」です。

認定・却下	認定・却下年月日	支給開始年月	区分	手当月額
	令和　・　・	令和　・	・児童手当 ・特例給付	3歳未満分 円 3歳以上小学校修了前分 円 中学生分 円 計 円

控除後の所得額	所得制限限度額
円	円

※審査	令和　年分所得の合計額	うち児童手当法施行令第3条第1項による控除 給与所得/公的年金等所得を有する場合の控除額（上限100,000円）	（一律控除額）	控除 雑損控除額	医療費控除額	小規模企業共済等掛金控除額	障害者控除額 障害人・特障人	寡婦・ひとり親・勤労学生控除額
請求者	円	円	80,000円	円	円	円	円	円
配偶者	円	円	80,000円	円	円	円	円	円

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。　※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。

添付書類	年金確認	口座確認	所得確認	住民票	申立書類

個人番号処理確認	個人番号確認	身元確認書類	職権処理
	□個人番号カード □通知カード+身元確認書類	□運転免許証　□旅券 □その他（　）	□職権処理本人同意 処理日：　／　／